

12. インバウンドによる食関連消費拡大

令和8年度予算概算決定額 138百万円（前年度 26百万円）
〔令和7年度補正予算額 138百万円〕

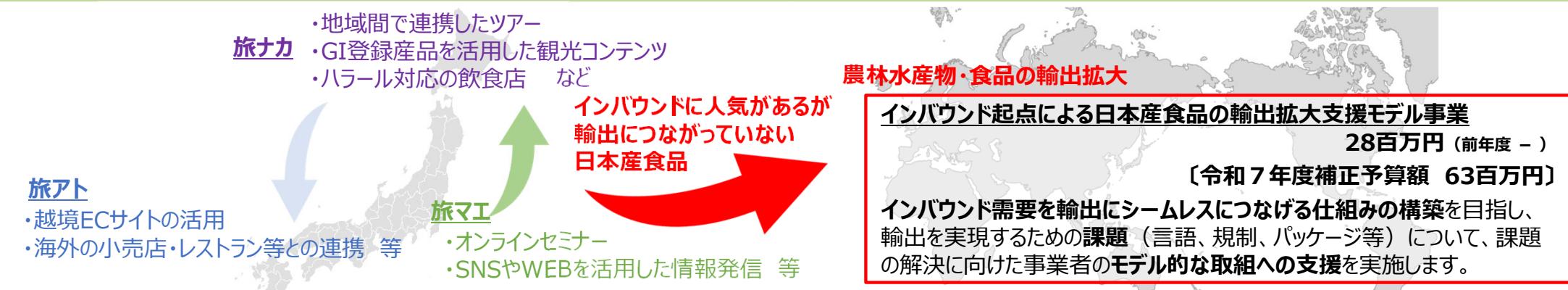
＜対策のポイント＞

インバウンド食消費と輸出拡大の好循環を形成すべく、インバウンドを起点としてシームレスに輸出につながるようなモデル的な取組等を支援します。

＜事業目標＞

- 農林水産物・食品の輸出額の拡大（5兆円 [2030年まで]）
- インバウンドによる食関連消費額の拡大（4.5兆円 [2030年まで]）

＜事業の全体像＞ %& "



新市場開拓推進事業

1,650百万円の内数（前年度 1,487百万円の内数）
〔令和7年度補正予算額 2,008百万円の内数〕

- ①コンテンツを有効活用した海外需要の獲得、
- ②グローバルメディアを活用した番組制作等、
- ③インフルエンサー招へいによるインバウンド消費の拡大に係る取組等を実施します。

インバウンド地方誘客・食関連消費拡大促進事業

10百万円（前年度 19百万円）

SAVOR JAPAN認定地域のブランディング、プロモーションのため、認定地域の魅力の磨き上げや地域の食文化などを一体的に発信する取組を支援します。また、食文化の担い手を計画的に育成するため、優良事例を活用した研修会等を実施します。

ブランド・GI推進事業

62百万円の内数（前年度 - ）

地域産品のブランド価値をGIや商標等により保護し、その価値を地域の飲食店や旅行事業者等と連携してインバウンド向けに発信するなど、海外から稼ぐモデル的取組を拡大します。

（関連事業）

- 農山漁村振興交付金のうち地域資源活用価値創出推進・整備事業（農泊推進型） 7,045百万円の内数（前年度 - ）

ターゲット国のニーズ調査、農泊地域と地域ならではの「食」を提供する団体等との連携体制構築、インバウンド向けの「食」に特化した高付加価値なコンテンツ造成、多言語での情報発信等の一体的な取組や、「食」の高付加価値化に不可欠な施設の整備等を支援します。

- 海業振興支援事業 250百万円の内数（前年度 - ）〔令和7年度補正予算額 302百万円の内数〕

海業の全国展開にあたり、国の施策として取り組むべきテーマ（インバウンド対応等）について、海業の取組に必要な調査、計画、実証等によるモデルづくり等を支援します。